

佳作

(北海道滝川市)

渡邊 啓子

## 「我が夫殿へ」

あなたは面倒くさい人です。

台所に立つ日本男児であるあなたは、料理に人一倍こだわりがあるようです。だから、私が料理していると、あなたはああしろ、こうしろと横から口を出してきます。

おおざっぱな私と細かいあなたの間で起ったケンカの9割は、料理が原因であることに、あなたもお気づきのことでしょう。

結婚して早や3年、その間に私たちは、マーガリンの戦い(マーガリンは水平にすくうべきか、垂直にすくうべきか)や、第一次サンマ論争(サンマはグリルで焼くべきか、フライパンで焼くべきか)など、他の人から見れば、なんともくだらない夫婦の危機を幾度迎えたことでしょうか。

あなたは面倒な人であり、私は面倒くさがりな人です。

この決定的な性格の違いにより、台所は仁義なき戦いの場へと化するのです。

しかし、それでも私は台所に立つことをやめたりはしません。

私よりも料理歴が長く、味付けのレパートリーも豊富で、なおかつ上から目線のあなたから学ぶべきところは学ばせていただきます。

たとえ回数は少なくとも、あなたにおいしいと言わせたこともあるのだから。

私が作った唐揚げを、あなたがおいしいねと言ったなら、サラダ記念日ならぬ唐揚げ記念日です。

これから、私たち夫婦の年表には、第二次サンマ論争や米のとき方騒動が刻まれることもあるでしょう。

でもそれ以上に、肉じゃが記念日やハンバーグ記念日を増やしてみせますよ。

だから最後に一つ言わせてください。

一生おいしいものを食べさせてあげるから、黙って私についてきなさい!!

平成24年8月某日 妻より